

# はじめに

千葉県営水道は昭和9年に創設され、昭和11年から給水を開始して以来、県勢の発展に合わせ、数度の事業拡大を行ってまいりました。その結果、今日では千葉県企業局の水道事業として、県北西部を中心に11市、約300万人のお客様に水を供給する、全国第3位の大規模水道事業体に発展いたしました。

近年の県営水道を取り巻く環境は大きく変貌しつつあり、頻発する自然災害や将来的な人口減少社会の到来、さらには施設や管路の更新需要の増大など、様々な課題に対応していく必要があります。

このような中で、令和3年度から7年度までの5年間を計画期間とする新たな「千葉県営水道中期経営計画」に基づき、水道施設の更新・耐震化を計画的に実施しているところです。

本計画では、健全経営の確保に取り組みつつ、地震や台風などの自然災害の経験を踏まえるとともに、新型コロナウイルス感染症に対する危機管理の充実を図るなど、いつでも安全でおいしい水をお届けすることを目指します。また、お客様サービスの向上を図るため、ICTを積極的に導入し、各種手続き等のデジタル化を進め、お客様からのさらなる信頼と安心を得られるように努めていきたいと考えています。

千葉県営水道の基本理念は「いつでも、安全でおいしい水を安定して供給し、お客様が安心し、信頼を寄せる水道」です。この基本理念の実現に向け、職員が一丸となって関係機関と連携を図りながら取り組んでまいります。

この事業年報は、令和3年度における千葉県営水道の事業概要と関係資料を冊子に取りまとめたものであり、千葉県営水道への理解と関心を深めていただく一助として御活用いただければ幸いです。

令和4年9月

千葉県企業局長 山口 新 二